

献げること 一愛、自由、献身 ピリピ書4章10-13節

香港JCF
2010年8月8日

9

I 愛(10節)

1. パウロのピリピ教会への愛
①迫害の中での宣教②テモテの派遣
2. ピリピ教会のパウロへの愛 IIコリ8:1-5
①エパフロデトの派遣 ②献金の再開
3. 交わりと奉仕の動機としての主にある愛
→愛は責任を強制されず、重荷ともしない

10

II 自由(11、12節)

1. あらゆる境遇に勝利したパウロ
→境遇を言い訳としない
2. 境遇への勝利の秘訣であるキリスト
3. 基本的境遇:①健康 ②経済 ③人間関係
→貧しさに希望を失わず、豊かさに我を失わず

11

III 献身(13節)

1. パウロを強くするキリスト(強さとは?)
2. 強さの秘訣としての献身: IIコリ4:7-12
3. ほしいのは献金ではなくピリピ人が献身し、境遇に勝利し、主体性を持って境遇を支配すること
信仰(献身)→自由→主体性→支配(創1-28)

12

み言の適用

1. 真の自由はキリストにあって境遇の主となること、それは愛の献身(明け渡し)で可能
2. 経済は私たちが勝利すべき基本的境遇
3. 神の必要は献金ではない、私たちが献金を通し経済生活でも主にある支配者になること
→献金を通し、献身と自由を学ぶ
→学ぶ、知る、心得る、出来る

13